

総合生存学教育と 宇宙・文明・経済・テクノロジー



京都大学大学院総合生存学館
思修館

11/22 (開場 14:30) 土 15:00~17:00

【会場】芝蘭会館 2F 研修室 1
【主催】京都大学大学院総合生存学館 (思修館)
【定員】60 名
【参加費】無料

【開催趣旨】

総合生存学、すなわち、我々人類の生存に必要な知見として、自然科学と人文科学、そしてそれらを統合するための経済メカニズムの構築などを柱とした新しい学問体系を探究中である。本ミニシンポジウムにおいては、人工衛星データを用いた画像解析と歴史学との関連、スーパーコンピュータ京を利用した災害予報手段の構築、そしてグリーン経済メカニズム構築について、それぞれの専門家に最新の知見をいかに総合生存学教育に生かすかを討論し、同学問の構築を模索していただきます。

15:00 開会挨拶

15:05 「歴史的遺産と総合生存学」 泉拓良 京都大学総合生存学館 教授

15:15 「人工衛星データと人文学との融合」 中野不二男

宇宙航空研究開発機構 京都大学宇宙総合学研究ユニット特任教授

15:25 「衛星解析によるアジアモンスーン域の収量予測」 辰己賢一 東京農工大学助教

15:35 「スーパーコンピュータ京を用いた豪雨災害予報」 大泉 伝 海洋研究開発機構研究員

15:45 「グリーン経済と総合生存学」 ディミター・ヤルナゾフ 京都大学総合生存学館 教授

15:55 「総合生存学と地球・宇宙」 山敷庸亮 京都大学総合生存学館教授

16:05 " パネルディスカッション 「総合生存学と宇宙・文明・経済・テクノロジー」 "

パネラー 山敷庸亮 (総合司会)

パネリスト 上記講演者に加えて

堀場製作所 小林剛士 主任研究員

国連環境計画 ハートウイグ・クレマー

国連食料農業機関 カコリ・ゴージュ

内閣府宇宙戦略室 福代孝良主査 (内閣府宇宙戦略室)

和歌山大学 宇宙教育研究所長 秋山 演亮 特定教授

☒ 申し込み 辻廣 tsujihiro.satoko.4r@kyoto-u.ac.jp まで



GSAIS

Kyoto University Graduate School of
Advanced Integrated Studies in Human Survivability